# おかしん

2023
10
VOL.831

2022年「モナリザ」
田舎館村（いなかだてむら）　田んぼアート
（青森県南津軽郡田舎館）

田んぼをキャンバスに見立て、色の異なる稲を絵の具代わりに巨大な絵を描く「田んぼアート」。その発祥の地が田舎館村です。1993年に3色の稲でスタートしてから年々技術が向上し、今では7色の稲を使いこなしています。長年培ったノウハウと測量技術を誇り、他のどの地域にも負けない緻密さと芸術性の高さから海外メディアにも注目されています。

巻頭特集

## 青森県　白神山地　世界自然遺産登録30周年

## 家康公検定　過去問に挑戦！

## Okashin News　山形県で「岡崎フェア」開催

巻頭特集

# 青森県

## 白神山地 世界自然遺産登録30周年

青森県は本州最北に位置し、県の面積は約9645平方キロメートルで日本面積の約2.5％を占めています。三方を海に囲まれ、県の中央部に位置する奥羽山脈が県内を二分しているなど、海域や地形が複雑なことから、同じ県内でも、地域によって気候が大きく異なります。冬は、冷たく湿った空気が奥羽山脈にぶつかり津軽地方に雪を降らせる一方、太平洋側は、奥羽山脈が障壁となって乾燥した晴天の日が多いのが特徴です。季節の移り変わりがはっきりしているので、四季折々の美しい自然を味わうことが出来ます。

青森県では地形の特性を生かした農業が行われており、収穫量日本一の農林水産物が多くあります。全国の約63％を占めるりんご（収穫量約41万8千トン　2021年）をはじめ、にんにく、あんず、フサスグリ（カシス）、ごぼうなど多岐にわたります。また、夏の涼しい気候は花づくりにも適しており、青森県産の花は、色があざやかで長持ちすることから、大変人気があります。

### 白神の森 遊山道 鰺ヶ沢町

「白神の森　遊山道」は、鰺ヶ沢町の中心部から南へ車でおよそ30分ほどの黒森地区にあります。広さ約52ヘクタールのこのエリアでは、樹齢200年を超えるブナも見受けられ、世界自然遺産登録地域とほぼ同じ森林景観を楽しむことができます。

## 日本初の世界自然遺産「白神山地」

白神山地は、青森県と秋田県にまたがる約13万㌶におよぶ広大な山岳地帯で、このうち人の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林で占められている約1万7千㌶のエリアが、1993年に日本初の世界自然遺産として登録されました。

白神山地は都市から遠く離れ、険しい地形で囲まれていることが幸いし、自然の生態系が守られてきました。そのため、白神山地のブナ天然林には、ブナーミズナラ群落、サワグルミ群落等をはじめ多種多様な植物が生育し、高緯度にもかかわらず、ツキノワグマ、ニホンザル、クマゲラ、イヌワシ等をはじめ非常に多くの動物が生息し、白神山地全体が森林博物館的景観を呈しています。

特に世界遺産地域は、最も良く原生状態が保たれており、その価値は、地球的に見ても極めて重要であると評価されています。ブナ林は、動物の餌となる植物が多く、他の森林に比較して豊富な動物が生息しているほか、水源涵養機能や地表侵食防止機能なども高いのが特徴です。このような多面的な機能や美しさは、近年日本でも高く評価されるようになっています。

## 津軽峠（白神岳） 西目屋村

西目屋村と鰺ヶ沢町の境に位置するのが津軽峠です。眼下には白神山地の山々が連なる雄大な眺めが広がります。津軽峠から3分ほどのところにあるブナの巨木「マザーツリー」は、樹齢が400年を超えているといわれおり、直に触れてみると、その静かながら力強い生命力に圧倒されるようです。マザーツリーから歩いて3分ほどのところには展望所もあり、そこからは岩木山・尾太岳を望む雄大なパノラマを見ることもできます。

※2018年9月の台風21号の暴風により地上から9mのところで幹が落下してしまいました。

▲幹が折れる前のマザーツリー

▲青池

## 十二湖：青池・沸壺（わきつぼ）の池 深浦町

十二湖は白神山地西部に位置するブナの森に囲まれた33の湖沼群の総称。1704年に発生した大地震による山崩れによってできたといわれており、崩山から眺めると12の湖沼が見えたことから十二湖と呼ばれるようになりました。特に有名な「青池」は、水中に朽木が横たわる様が見えるほど透明でありながら、インクを流したようなハッキリとした青の湖面が神秘的です。同じように青色の湖面が美しい「沸壺の池」の湧水は「青森県の名水」にも選ばれています。

▲沸壺の池

世界自然遺産白神山地の周辺にはこんなスポットも!

## 北金ヶ沢の大イチョウ 深浦町

深浦町の北金ヶ沢地区にある、樹齢1000年以上、高さ約31m、幹周り約22mを誇る日本一のイチョウの巨木。その大きさに圧倒されます。11月中旬～下旬にかけて、葉が黄金色に色づき見ごろを迎えますが、夜にはライトアップされ、暗闇の中で明かりに照らされる巨大な大イチョウ「ビッグイエロー」を楽しむことができます。

## 暗門の滝 西目屋村

3段からなる滝で、上から順に「第1の滝」（落差42m）、「第2の滝」（落差37m）、「第3の滝」（落差26m）が点在し、いずれも迫力のある姿をしています。付近一帯は険しい岩壁に囲まれ、ブナ・松などの老樹が生い茂っています。

地域の信金職員に聞きました！

# 青森県のおすすめスポット

東奥信用金庫
おすすめスポット

## 弘前公園

弘前市

りんごの剪定技術を用いて管理する弘前公園の桜は街のシンボル。夏の緑、秋には紅葉。冬の雪景色。季節ごとに表情が変化。

表情を変える街の象徴

## 弘前市りんご公園 弘前市

弘前市はりんご生産量日本一の街であり、全国の生産量の約2割を占めています。街ではアップルパイやシードルなどの個性的なりんごがあなたを待っています。明治から続くりんごの街を体感してみてはいかがですか。

りんご生産量日本一の街
だからできる、極上体験

## 弘前ねぷたまつり 弘前市

弘前ねぷたは国の重要無形民俗文化財に指定されています。正史に表れるのは享保7年。御国日記に5代藩主信寿公がねぷたを見物したという記録が残されています。毎年8月1日～8月7日に開催されている弘前ねぷたまつりは、勇壮で幻想的な武者絵などが描かれた扇ねぷたや組ねぷたなどが運行されます。

最大9m超の大型ねぷたを
汗にまみれて押し引き回す
「男たち」の姿も必見！

## 中野もみじ山 黒石市

藩政時代に黒石領出身の弘前9代藩主寧親（やすちか）公が京都から取り寄せ、100種類の楓を植えたのが始まりと言われ、県下第一の紅葉狩りの名所です。

日中は紅葉が燃えるような紅に彩られ、ライトアップされる夜間は滝と渓流に映え、幻想的な空間が演出されます。

## 立佞武多（たちねぷた） 五所川原市

毎年8月4日から8日まで、ビル7階建てに匹敵する大型立佞武多3台をはじめとした大小十数台の山車が夜のまちを練り歩きます。青森ねぷたや弘前ねぷたとは一味違った、迫力のある高さが特徴のねぷたを是非ご覧下さい。

高さ23m！巨大山車
「立佞武多」が練り歩く夏

見て歩くだけでも楽しい

青い森信用金庫
おすすめスポット

## たてはながんぺきあさいち
## 館鼻岸壁朝市 八戸市

例年3月中旬から12月までの毎週日曜日の早朝にだけ出現する巨大朝市「館鼻岸壁朝市」。

八戸自慢の海の幸はもちろん、採れたての山の幸、手作りのお惣菜、雑貨や骨董品まで、とにかくバラエティ豊かな300を超える出店が立ち並ぶ、日本最大級の朝市です。

イートインやテイクアウトの飲食店も多く、朝ごはんも楽しめます。賑やかな雰囲気の中、朝日に照らされる海を眺めながら食べる朝ごはんは、格別です。

## 奥入瀬渓流 十和田市

岩や樹林をかき分け、滝や清流を成しながら、十和田湖から約14km続く奥入瀬渓流。渓流沿いには遊歩道が整備されており、道を包むように緑のトンネルの中を、雄々しい水の流れ感じながら散策することができます。

年間を通して様々な顔を見せてくれる奥入瀬渓流ですが、特に、青々と茂る緑が楽しめる5月中旬～6月中旬と、紅葉が美しい10月中旬～下旬がおすすめです。

思わず深呼吸したくなる大自然

## やげんけいりゅう
## 薬研渓流 むつ市

下北半島国定公園内に位置し、大畑川の上流に広がる薬研渓流は、季節によってその景色の彩を変え、観光地としてはもちろんのこと、地域の人々の癒しの場所として親しまれていますが、特に、10月中旬～下旬の紅葉の季節には、多くの人々が訪れます。遊歩道も整備されており、薬研橋から奥薬研温泉までの約4kmで、川のせせらぎを聞きながら約一時間の森林散策を楽しむことができます。

マイナスイオンたっぷりの
大自然に癒される

## 特別史跡
## 三内丸山遺跡 青森市

竪穴建物跡や大型掘立柱建物跡のほか、土器や石器、貴重な木製品、骨角製品などが出土した、縄文時代前期～中期の大規模な集落跡であり、今から約5,900～4,200年前の縄文時代の村の暮らしが体感できるスポットです。

2021年7月には、三内丸山遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録されました。

悠久の古代ロマンに胸が躍る

## Information

写真提供・協力：青森県、公益社団法人 青森県観光国際交流機構、東奥信用金庫、青い森信用金庫

### 公共交通機関をご利用の場合

- 飛行機：県営名古屋空港から青森空港へ（約1時間20分）
- 新幹線：名古屋から新青森へ（約5時間）

### お車をご利用の場合（青森市）

- 東名・首都高速・東北自動車道・青森自動車道経由で青森へ
  全国の主要都市と結ばれています。

※お出かけの際は、事前に目的地ホームページなどをご確認ください。



まだまだ
紹介しきれない
青森の魅力は
こちらから！

青森県観光情報サイト
「Amazing AOMORI」

# 家康公検定 過去問に挑戦！26

豊臣秀吉による天下統一の総仕上げとなったのは、小田原の北条征伐と、引き続き東国へと進軍して行った「奥羽仕置」でした。秀吉に従った家康公は豊臣秀次とともに奥州平泉（岩手県）まで北上しています。今回は、現在の青森県にまで影響を与えた「奥羽仕置」に関わる難問です。

**問題**

天正18年（1590）、小田原征伐で北条氏を倒した豊臣秀吉は、源頼朝の奥州征伐（奥州合戦）の故事に倣い、鎌倉で鶴岡八幡宮に参詣すると東北に向けて進軍。頼朝が戦勝祈願をした所縁の地に入り、ここに関東・東北の諸大名を集めて東国の領地配分などの仕置を行いました。秀吉がこの「奥羽仕置」を行った城はどこでしょうか？

(1) 会津若松城　(2) 宇都宮城　(3) 館林城　(4) 弘前城

**解説** 天正18年（1590）7月11日、秀吉の小田原征伐が北条氏政らの切腹により終了します。これにより戦国大名としての後北条氏は滅亡しました。秀吉はそのあと小田原から下野国に向かい、宇都宮城に入城、関東、奥羽の大名達を出頭させて、ここで東国大名に対する仕置を行いました。特に伊達政宗に対する仕置では、惣無事令に従わず小田原参陣が遅れたことを咎め、100万石以上あった領地を70万石余りに減封しました。東北に覇を唱えた伊達氏を従えたことで、秀吉の全国統一が成ったと考えても良いでしょう。陸奥（青森県）の大名 南部信直と津軽為信も秀吉に恭順の意を示したことで本領を安堵され、江戸時代も藩主として存続しています。

「奥羽仕置」が行われた
宇都宮城（栃木県宇都宮市）

正解……(2)

# ON Okashin News おかしんからのお知らせ

## 山形県で「岡崎フェア」開催

2023年9月16日㈯～20日㈬、山形県鶴岡市において、岡崎市の名産品をそろえた「岡崎フェア」が開催されました。当金庫お取引先様約30社の商品も販売され、大勢訪れた観光客などから大好評をいただきました。

庄内藩は徳川四天王筆頭　酒井忠次を始祖とする酒井家が代々藩主として治めた地。岡崎信用金庫と鶴岡信用金庫とは、2015年、家康公と家臣団のゆかりの地にある全国８信金で「地域活性化に向けた業務連携に関する覚書」を締結し、親交を深めてきました。

第49期天元戦第1局対局開催記念

# 天元戦関連イベント

10月10日に岡崎市内の龍城神社にて
囲碁のタイトル戦「天元戦」が
開催されます。

関航太郎天元

一力遼棋聖

家康公の愛した
囲碁の世界に
触れてみよう！

**A** 10/3(火)→10/29(日)

**写真パネル展** 入館無料 10/9を除く月曜休館

**岡崎信用金庫資料館 1階展示室**

AM10:00～PM5:00 入館はPM4:30まで

愛知県岡崎市伝馬通 1-58　名鉄本線　東岡崎駅下車［出口1］徒歩約10分
名鉄バス　篭田公園前下車 徒歩約2分

**パネル展示コーナー**

（期間中常時）

囲碁のルールや歴代天元の写真などで天元戦の魅力を紹介！！

問い合わせ 中日新聞三河アドセンター TEL:0564-23-3051（[平日]午前10:00～午後4:00） 主催 中日新聞社

毎月一回発行
発行所　岡崎市菅生町字元菅四一

あおもり自慢！

# 日本酒 & うまいもの フェア

青森の酒蔵が大集合！

**開催期間**　11月2日(木)～11月5日(日)　11:00～19:00(最終日18:00)予定

**会　場**　OTO RIVERSIDE TERRACE（オト リバーサイド テラス）　グランドイン東岡崎３階催事場
(愛知県岡崎市上明大寺町2丁目14-10)

## 青森の〝うまいもの〟をふんだんに取り揃えました！

青森の豊かな自然が育んだ美味しいお酒、食の特産品をお届けします。
この機会に、ぜひご賞味ください。

主催／青森県名古屋情報センター　　共催／㈱あおもり北彩館、東岡崎駅北東街区複合施設㈱
協力／㈱岡崎ニューグランドホテル、スターツ東海㈱、幸田町、青い森信用金庫、東奥信用金庫、岡崎信用金庫

発行／岡崎信用金庫　編集／地域振興部
電話〈〇五六四〉二五―七二一三(https://www.okashin.co.jp)